

2025 年 12 月 1 日

NEWS RELEASE

日産自動車株式会社
サッポロホールディングス株式会社

日産自動車とサッポログループが共同で、 関東～九州間の海上輸送を開始

日産専用フェリーでビールを輸送し、物流効率化と環境負荷低減を実現



日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：イヴァン エスピノーサ、以下日産自動車）とサッポロホールディングス株式会社のグループ企業であるサッポログループ物流株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：服部 祐樹、以下サッポログループ物流）は、日産自動車が保有する専用フェリーを活用した海上輸送を共同で開始します。

日産自動車は、関東エリアで自動車部品や完成車を専用フェリーに積載し、日産自動車九州（福岡県荏田町）に隣接する専用ふ頭へ輸送しています。従来は、九州からの復路は、完成車および空積み状態のシャーシ(注1)を関東エリアの専用ふ頭へ回送していました。

往路で車両部品を積載していたシャーシに、復路ではサッポロビール製品を積載して輸送することで、フェリーの積載効率を高めて輸送の効率化を図るとともに、二酸化炭素排出量の低減を同時に実現します。本取り組みでは同区間をトラックでサッポロビール製品を輸送した場合と比較して、年間約 55%(注2)の CO₂排出削減効果を見込んでいます。また全工程をトラックで輸送すると仮定した場合、九州～関東の約 1,200km の距離に 19 時間ほどかかることが想定されますが、フェリーも合わせて利用することによりトラックでの輸送時間を約 4 時間半に抑えることができ、長距離運転によるドライバーの労働負荷低減など、物流業界が直面する社会課題の緩和にも寄与することが期待できます。

両社は物流のさらなる効率化と環境負荷の低減を目指し、「持続可能な物流」の実現に向けた取り組みをこれからも進めていきます。

(注1) シャーシとは部品や資材を効率的に輸送するために使用される、トラックの荷台部分のこと

(注2) 両社による算定結果において

1. 運用開始日

2025 年 12 月 1 日

2. 輸送区間

[往路]

積み地：日産自動車工場（神奈川県） 降ろし地：日産自動車工場（福岡県）

[復路]

積み地：サッポロビール工場（大分県） 降ろし地：サッポロビール工場（千葉県）

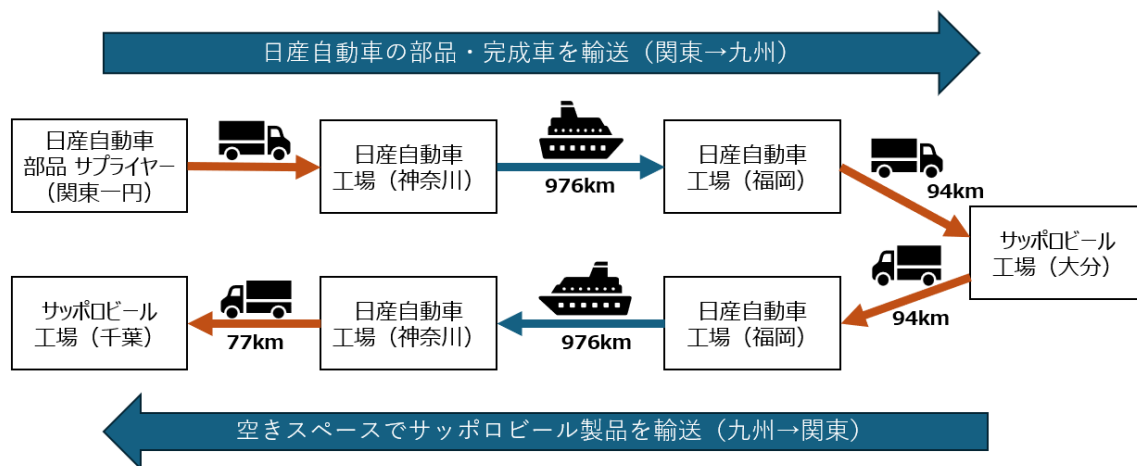
3. 主な輸送製品

- ・日産自動車：自動車部品・完成車など
- ・サッポロビール：ビール製品など

4. 効果（見込）

トラックで輸送した場合と比較して、年間の CO₂排出量を約 55%削減見込み(注2)

■往復輸送のスキームについて



■日産自動車専用フェリーの輸送について

日産自動車は専用フェリーを7隻運航しており、大型船では、1隻当たり完成車を804台、自動車部品を積載するためのシャーシ113台積載することが可能です。海上輸送時には、トラックの先端にある駆動部（キャビン）を切り離し、シャーシ部分のみフェリーに積み込みます。到着地の港では、現地で駆動部を連結し、陸上輸送を行う仕組みです。